

第10期生 研修風景



いいた りょうすけ  
**飯田 涼介さん**  
研修作物：ナス

祖父が生き生きと農業に励む姿を見て、自分も同じ道に進みたいと考えようになりました。ナスは単価が安定しているので、生計を立てつつ地域に貢献できる生産者になりたいです。

はら よしのぶ  
**原 好伸さん**  
研修作物：イチゴ

知人の農作業を手伝った時「これだ！」と感じ就農を決めました。研修期間中は忙しいと思いますが、教えられたことをどんどん吸収し、充実したものにしていきたいです。

うめさき ひろかず  
**梅崎 寛和さん**  
研修作物：ナス

自然が好きで、いつか関わられる仕事がしたいと考えていました。研修は毎日が初体験に溢れていて楽しいです。就農後、良いスタートがきれるようこの1年間しっかり学びたいです。

ほしの ゆうき  
**星野 優希さん**  
研修作物：イチゴ

自然とイチゴが大好きだったことから、生産者になろうと思い立ちました。覚えることが多く1日があっという間に過ぎていきますが、1つ1つのことをものにしていきたいです。

JA就農支援センター第10期生

新たな第1歩に向けて、8人が入所。



優れた担い手の育成や地域農業基盤の維持発展に取り組むJA就農支援センターに、新規就農を目指す第10期生が新たに仲間入りしました。今年はイチゴ栽培希望者6人、ナス栽培希望者2人が入所。1年をかけてJA営農指導員の他、八女市在住の茅島博敏さん(イチゴ担当)、高山宗茂さん(ナス担当)を講師に、栽培管理について学びます。また、農業経営についてはJAや行政、八女普及指導センターなどが一体となって座学を行います。研修終了後はそれぞれJA幹旋の遊休ハウス等を活用し管内で就農する予定です。



たなか しゅんすけ  
**田中 駿丞さん**  
研修作物：イチゴ

実家が転勤族だったこともあり、地域に根差した仕事がしたいと考えていました。就農後は何でも1人でやっていかなくてはいけないので、健康を第一に精一杯頑張っていきたいです。

しもかわ とおる  
**下川 達さん**  
研修作物：イチゴ

周りに農家が多く、家族仲良く過ごす様子を見て就農を考えるようになりました。研修では丁寧ながらも時期ごとにやるべき作業が終わるよう、スピード感をもって励んでいきたいです。

つる ひでお  
**津留 秀臣さん**  
研修作物：イチゴ

祖母が毎日楽しそうに家庭菜園に励む姿を見て「自分もいつかやってみよう」と思うようになりました。先生から教わったことを就農1年目から生かせるよう、研修を行っていききたいです。

しもかわ まさし  
**下川 雅史さん**  
研修作物：イチゴ

以前は自衛官をしていましたが家を空けることが多く、家族との時間を増やすため農業の道に進もうと決意しました。この1年間ががむしゃらに目の前のことに精一杯向き合っていきたいです。



就農支援センター第9期生退所式

1年間の研修を終え第9期生卒業

JA就農支援センターでは5月31日、第9期生の退所式と10期生の入所式を開き、JA役職員や行政など施設関係者ら約30人が参加しました。第9期生の研修成果報告では、イチゴ栽培を学んだ伊藤宏文さんが1年を振り返り「育苗や収穫だけでなく支援事業まで幅広く学ぶことができた。部会の先輩方に負けないよう収量を上げていきたい」と語りました。あいさつでは、退所する9期生に向けて野中公彦組合長が「就農後さまざまな困難に直面すると思うが、共に学んだ研修生の仲間たちと力を合わせ、楽しみながら農業を続けてほしい」と激励しました。